

## 町技バドミントン 全道・全国大会出場

**白** 糠学園6年、松下一誠君（スーパーキー・ジュニア）が12月25～27日に石川県金沢市で開催された「第31回全国小学生バドミントン選手権大会」に出場しました。

準々決勝で愛媛県の選手と対戦。ファイナルゲームまでもつれた接戦となりましたが、惜しくも敗れてしまいました。

松下君は「いい試合ができたとは思いますが、2連覇を目指していたので」と悔しさをにじませました。「この敗戦が次につながるように、たくさん練習して、全国中学体育大会やインターハイでも優勝したい」と、次戦に向けて気持ちを切り替えていました。

1月7日・8日、よつ葉アリーナ十勝（帯広市総合体育館）で行われ



（左から）田中杏奈さん、五十嵐君、田中悠晴君、松下君、渡部さん、田中涼晴さん

た「第36回全十勝小学生オープンバドミントン大会」に釧根地区予選を勝ち抜いた白糠学園5年、五十嵐真君と田中杏奈さん、3年の田中悠晴君が出場しました。また、松下一誠君は推薦選手として出場しました。

五十嵐君は2回戦、田中杏奈さんと田中悠晴君は、残念ながら1回戦で敗退となりました。松下君は、初戦から危なげない試合運びで、見事優勝を決めました。

1月7～9日に小樽市総合体育館

で開催された「第41回北海道中学生新人バドミントン競技選手権大会」に釧根地区予選を勝ち抜いた白糠学園8年の渡部圭人さんと7年の田中涼晴さんが男子ダブルスで出場しました。また、庶路学園7年の木下晴楽さんが女子シングルスで出場しました。

渡部さんと田中さんの男子ダブルスは健闘するも1回戦で敗退。木下さんは準決勝で敗退し、3位決定戦に挑みますが、惜しくも敗れて4位となりました。

## 駅伝

帝京大学3年

## 小野 隆一朗 選手

第99回東京箱根間往復大学駅伝競走

**第** 99回東京箱根間往復大学駅伝競走が2023年1月2日・3日の両日行われ、1区（21・3km）に白糠町出身で帝京大学3年の小野隆一朗選手が出場しました。

小野選手の出場は2年連続。小野選手は、昨年と同じく1区を走り1時間3分30秒で区間16位、トップとのタイム差56秒と力走しました。

兄の誘いで小学1年生の時に陸上を始めた小野選手。小学生の頃は野球部との掛け持ちでしたが、中学からは陸上に絞って本格的にトレーニングを開始。中学3年時に中体連全道大会3000mで4位に入賞。高校は駅伝部のある「北海道栄高等学校」に進学し、第275回日本体育大学長距離競技会の1万mで29分16秒39と、北海道の高校新記録をマーク。高校

3年時は、駅伝の高校日本一を決める「全国高等学校駅伝競走大会」で1区（10・0km）を走り、4位という好成績を残しました。

そして帝京大学では2年時に箱根駅伝へ出場。1区を走り1時間1分51秒という成績を残しました。

今年も1区を走った小野選手は、「ほかの選手と比べて、自分の実力不足が目立ったレースでした。前回の箱根駅伝での弱いところを意識して練習に取り組んできましたが、それでもまだまだ足りませんでした」とレースを振り返りました。

今回の大会で帝京大学は総合13位と、シード権を獲得できなかったため、来年の100回大会出場のためには、予選突破が条件となります。

小野選手は「応援していただき、

ありがとうございました。今大会ではシード権を落とし、第100回大会は予選会からのスタートとなりますが、今回箱根駅伝を走った主力の選手が多く残るので、必ず予選会を突破し、箱根駅伝本戦に出場します。今後も応援よろしくをお願いします」と意欲を燃やしていました。



写真・釧路新聞社提供